

大阪労働局発表
令和6年9月30日（月）

【照会先】
大阪労働局職業安定部職業安定課
（代表電話）06（4790）6300

経営者・人事労務担当者向け
「治療と仕事の両立支援」
ハイブリッドセミナー
～「がん」になっても働ける職場を目指して～
の開催について

(会場+WEB同時配信!)

2024.
10.7
(月)

大阪労働局（局長 志村 幸久）では、府内10か所のハローワークと、がん診療連携拠点病院等が連携して、がん患者等に対して治療と職業生活の両立のための専門的な就職支援を行っており、今般、経営者・人事労務担当者向けに「治療と仕事の両立支援」セミナーを開催いたします。

日本人の2人に1人が生涯のうちにがん罹患すると言われており¹、働く世代にとっても人ごとではありません²。一方、近年の診断技術や治療方法の進歩により、かつては「不治の病」とされていたがん等の疾病においても生存率が向上し³、「長く付き合う病気」に変化しつつあります。

治療と仕事の両立を目指す人が増える中で、その実現には事業主の方々の「両立支援に対する意識・積極的な取組」が重要です。

当日は、医師、保健師、ゲスト企業を迎え、がん治療の進歩についての講演のほか、両立支援の進め方のポイントや取組事例の発表を行います。

本セミナーを通じて、企業として従業員の職業生活の長期化・経験人材の確保という観点から、社員ががん罹患した際の雇用継続、がん患者の新規雇い入れについて理解を深め、ノウハウを持ち帰り、実践していただければと考えております。

¹ 男性 62.1%、女性 48.9% 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」累積がん罹患リスク（2020年データに基づく）

² 2020年に新たにがんと診断された人のうち15～65歳は約24% 同上「がん統計」（全国がん登録）

³ 2009～2011年にがんと診断された人の5年相対生存率は男女計で64.1% 全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告（国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター、2020）独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書

経営者・人事労務担当者向け

「治療と仕事の両立支援」セミナー 概要

- 1 日 時 令和6年10月7日(月)
15:00～16:45(受付 14:30～)
※アーカイブ配信：令和6年10月28日(月)～11月29日(金)
- 2 場 所 エル・おおさか 本館5階 視聴覚室
大阪市中央区北浜東3-14 (※会場定員 50名)
- 3 対象者 事業主・人事労務担当者
- 4 開催形式 ハイブリッド型(参集・リアル・アーカイブ)
- 5 内 容
 - (1) 「ここまで進歩したがん治療！
-なぜがん患者さんに療養と仕事の両立支援が必要なのか？-」
講師 地方独立行政法人 市立東大阪医療センター
特任院長 東山 聖彦 氏
 - (2) 「治療と職業生活の両立支援の取組と課題」～両立支援専門家の目線～
講師 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター
保健師 鈴木 純子 氏
 - (3) ゲスト企業による取組事例発表
講師 株式会社SANYO-CYP
代表取締役社長 山村 健司 氏
製作部製版課サブリーダー 新谷 幸一 氏
 - (4) 質疑応答
- 6 主 催 大阪労働局
共 催 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター
大阪府地域両立支援推進チーム

◎取材対応について

当日取材を希望される場合は、前日までにご連絡ください。

【問い合わせ先】大阪労働局職業安定部職業安定課

【電話番号】 06-4790-6300

※なお、撮影される際には、個人が特定されることのないよう、プライバシーに配慮願います。

経営者・人事労務担当者向け

(会場+WEB同時配信!)

「治療と仕事の両立支援」

ハイブリッドセミナー

～「がん」になっても働ける職場を目指して～

参加
無料

日時

2024. **10.7** (月)
15:00～16:45

会場

エル・おおさか 本館5階 視聴覚室
大阪市中央区北浜東3-14

※定員**50名** (先着順)



- Osaka Metro谷町線・京阪電鉄「天満橋駅」より西へ300m
- Osaka Metro堺筋線・京阪電鉄「北浜駅」より東へ500m

Web配信

ZOOMによる同時配信を行います。
後日、期間限定のアーカイブ配信も
予定しています。

プログラム

がん治療におけるキャリア豊富なドクター、
保健師、そしてゲスト企業を迎え、社員が
「がん」などの治療・療養が長期にわたる
疾病を抱えた際にどう向き合っていくかを
考えるセミナーです。

「ここまで進歩したがん治療！
—なぜがん患者さんに療養と仕事の
両立支援が必要なのか?—」

市立東大阪医療センター
特任院長 東山 聖彦氏

「治療と職業生活の両立支援の
取組と課題」
～両立支援専門家の目線～

大阪産業保健総合支援センター
保健師 鈴木 純子氏

～ゲスト企業による事例紹介～

株式会社SANYO-CYP
代表取締役社長 山村 健司氏
製作部製版課サブリーダー 新谷 幸一氏

主催：大阪労働局

独立行政法人 労働者健康安全機構

共催：大阪産業保健総合支援センター
大阪府地域両立支援推進チーム

お問い合わせ

大阪労働局職業安定部職業安定課
06-4790-6300

お申し込みはこちらから 9/30✕

<会場参加の方>

こちらから受付サイトに
アクセスしてください。予約完了後、受付
完了メールを送付いた
します。



<Web参加の方>

こちらから受付サイトに
アクセスしてくださ
い。予約完了後参加用
URLを送付いたします。



講師紹介

地方独立行政法人 市立東大阪医療センター 特任院長
1954年、豊中市生まれ。〈専門：呼吸器外科学・呼吸器腫瘍学〉
1980年、大阪大学医学部医学科卒業。
神戸掖済会病院、大阪大学医学部附属病院勤務を経て、1989年より大阪府立成人病センター呼吸器外科着任。2014年より同センター副院長兼呼吸器外科主任部長。2017年4月、大阪国際がんセンターへ施設名改称し、副院長（兼）相談支援センター長となる。2020年4月より市立東大阪医療センターにて特任院長として勤務、現在に至る。大阪国際がんセンター時代には、大阪府がん診療連携協議会地域連携クリティカルパス部会・相談支援センター部会の両部会の長を務め、大阪府のがん対策において重要な役割を担う。市立東大阪医療センター勤務以降は、中河内がん診療ネットワーク協議会長または副会長を担当し、肺がん診療に加えてがん相談支援センターや地域医療連携の業務にも関わっている。



東山 聖彦
(ひがしやま まさひこ) 氏



鈴木 純子
(すずき じゅんこ) 氏

独立行政法人 労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター
産業保健相談員／メンタルヘルス対策・両立支援促進員
産業保健看護上級専門家（保健師）
日本赤十字大学の前身、日本赤十字中央女子短期大学卒後、日赤医療センターで小児外科、神奈川県立こども医療センターで精神療育（精神科）の看護師として勤務。その経験から、保健師活動の必要性を感じ、神奈川県立看護教育大学校で保健師資格を取得。卒後は未知の領域である大手外資系IT企業に入社し、産業保健師として30数年、主にメンタル不調等での長期休職者の復職支援や健康づくりプログラムの企画運営などに関わった。退職後は現所属で専門家の相談に対応する一方、今まで経験のない、小規模事業場で一人勤務の嘱託保健師として産業保健体制づくり等に関わっている。
公益社団法人日本産業衛生学会理事、近畿産業保健看護部会部会長。

大阪に本社を構え、東京、名古屋にも製造拠点を設ける創業55年の企業。印刷に関わるデータ作成と試作ビジネスが本業で、印刷に関わる企画・デザインまで幅広いサポートを行うほか、WEB・VR/ARなどデジタルデータの企画・制作・販売や、商業写真・動画撮影も手がけている。

2012年、従業員・元従業員の胆管がん発症が明らかに。厚生労働省の検討会により、印刷機の洗浄剤に含まれる物質が原因と結論づけられ、当時は規制対象外の物質であったものの、発症に業務起因性は認められるとして労災認定された。

二度と労働災害を起こさないという思いから、前社長より経営を引き継いだ山村氏のもと、安全衛生の知識習得、従業員の健康管理に積極的に取り組んでいる。

- ・「健康経営優良法人2024ブライツ500」認定
- ・厚生労働省「治療と仕事の両立支援ナビ」掲載企業



株式会社 SANYO-CYP
山村 健司 (やまむら けんじ) 氏 (写真右)
新谷 幸一 (しんたに こういち) 氏 (写真左)